

島根大学農学部業績目録

(平成5年9月～平成6年8月)

LISTS OF THE FACULTY MEMBER'S PUBLICATIONS

FACULTY OF AGRICULTURE

(September 1993– August 1994)

生物生産科学科

Agro-Forest Biology

栽培植物生産学

Agronomy and Horticulture

稲葉 久仁雄 ・ 今木 正
Kunio INABA Tadashi IMAKI
山村 宏 ・ 細木 高志
Hiroshi YAMAMURA Takashi HOSOKI
板村 裕之 ・ 小葉田 亨
Hiroyuki ITAMURA Tohru KOBATA
太田 勝巳 ・ 小林 和広
Katsumi OHTA Kazuhiro KOBAYASI

〔著書〕

1. Flower bulbs. In KONISHI *et al.* (eds.) *Horticulture in Japan*. H. IMANISHI and T. HOSOKI, Asakura Pub. Co., Ltd., Tokyo, pp. 149-154, 1994.

〔論文〕

1. Remobilization of carbon and nitrogen in wheat as influenced by postanthesis water deficits. PALTA, A. J., T. KOBATA, N. C. TURNER and Ian R. FILLERY, *Crop Sci.*, **34** : 118-124, 1994.
2. Sterility in rice (*Oryza sativa* L.) subject to drought during the booting stage occurs not because of lack of assimilate or of water deficit in the shoot but because of dehydration of the root zone. KOBATA, T., S. TANAKA, M. UTUMI, S. HARA and T. IMAKI, *Jpn. J. Crop Sci.*, **63** : 510-517, 1994.
3. 水稲の穎花ならびに枝梗分化に及ぼす生殖生長期の体内窒素の影響. 小林和広・堀江 武, 日作紀, **63** : 193-199, 1994.
4. 摘葉およびジベレリン処理がカキ'平核無'果実のアルコール脱渋後の軟化に及ぼす影響. 板村裕之・福嶋忠昭・北村利夫・原田 久・平 智・高橋芳浩, 園学雑, **62** : 867-875, 1994.
5. Differences between the Japanese persimmon (*Diospyros kaki* THUNB.) 'Denkuro' and 'Hiratanenashi' on acetaldehyde production by their

flesh discs. TAIRA, S., K. ONODERA, H. ITAMURA and S. WATANABE, *J. Japan. Soc. Hort. Sci.*, **62** : 897-902, 1994.

6. 野生種 *Lycopersicon cheesmanii* との交雑によるミニトマトの果実糖度向上に関する試験. 細木高志・太田勝巳, 近畿中国農研, **86** : 25-27, 1993.
7. Micropropagation of *Verbena tenera* by node culture. HOSOKI, T. and S. KATAHIRA. *Plant Cell, Tissue and Organ Culture*, **36** : 373-375, 1994.
8. Transformation of ornamental tobacco and kale mediated by *Agrobacterium tumefaciens* and *A. rizogenes* harboring a reporter, β -glucuronidase (GUS) gene. HOSOKI, T., H. KANBE and T. KIGO, *J. Japan. Soc. Hort. Sci.*, **63** : 167-172, 1994.
9. Influence of the nutrient solution concentrations on cracking of cherry tomato fruit grown hydroponically. OHTA, K., N. ITO, T. HOSOKI, K. ENDO and O. KAJIKAWA, *Ibid.*, **62** : 407-412, 1993.
10. The influence of the concentration of the hydroponic nutrient culture solutions on the cracking of cherry tomato with special emphasis on water relationship. OHTA, K., N. ITO, T. HOSOKI, K. INABA and T. BESSHO, *Ibid.*, **62** : 811-816, 1994.
11. 植物生長調整物質, 接ぎ木および断根処理がトマトの生育に及ぼす影響. 浅尾俊樹・伊藤憲弘・細木高志・太田勝巳・遠藤啓太, 島大農研報, **27** : 79-83, 1993.

〔学会発表等〕

1. イネの耐旱性品種の早ばつ下における高い土壌水分消費能力がもたらす乾物生産の維持. 小葉田 享・奥野友美・今木 正・日作紀, **62(別2)** : 197-198, 1994.
2. 土壌乾燥に伴うコムギの水利用効率増加. 奥野友美・小葉田 享・今木 正, 同, **62(別2)** : 199-200, 1994.
3. 土壌乾燥下のイネ葉身の非葉身水ポテンシャル的制御の可能性. 小葉田享・中井裕二, 同, **63(別2)** : 123-124, 1994.
4. ゆるやかな乾燥にさらされたトウモロコシに生ずる葉身伸長阻害物質. 小葉田 享・秀島好知・今木正, 同, **63(別2)** : 125-126, 1994.
5. 土壌の乾燥に伴うカンショの水分生理的反応. 生駒

- 泰基・持田秀之・小葉田 享, 同, **63(別 2)**: 129-130, 1994.
6. 株周を用いた稲穂地上部乾物重と窒素量の予測. 小林和広・植木 忠・小葉田 享・今木 正, 同, **62(別 2)**: 47-48, 1993.
 7. 株周と葉色による水稻の分化穎花数ならびに最終穎花数の予測. 小林和広・植木 忠・小葉田 享・今木 正, 同, **62(別 2)**: 49-50, 1993.
 8. 有機質資材によるインゲンマメの栄養価の向上. 小林和広・北方美紀・今木 正, 日作中支集録, **35**: 39-40, 1994.
 9. 吸収窒素に対して穎花数の異なる水稻 3 品種の枝梗分化・退化数の比較. 小林和広・川住裕幸・小葉田 享・今木 正, 日作紀, **63(別 2)**: 275-276, 1994.
 10. 穎花数の異なる水稻 3 品種の生殖生長期における窒素・蓄積デンプンの違い. 小林和広・川住裕幸・小葉田 享・今木 正, 同, **63(別 2)**: 277-278, 1994.
 11. カキ数品種における採取後の果実軟化の比較. 板村裕之・大野泰司・山村 宏, 園学雑, **62(別 2)**: 64-65, 1993.
 12. Comparison of cell wall polysaccharide composition during fruit softening in several Japanese persimmons. ITAMURA, H., T. TANIGAWA, and H. YAMAMURA, XXIVth Int. Hort. Cong. (Kyoto), p. 270, 1994.
 13. 夏季の冷蔵がハイドランジアの休眠に及ぼす影響. 稲葉久仁雄・吉村貴之・太田勝巳, 園学中四国支部要旨, **33**: 69, 1994.
 14. Hybrids between *Salvia guaranitica* and *S. splendens*, and their some features. INABA, K., K. MIHARA, K. OHTA and T. HOSOKI, XXIVth Int. Hort. Cong. (Kyoto), p. 126, 1994.
 15. 宿根スイトピーの連続節切片培養による大量繁殖. 細木高志・本田善孝, 園学雑, **63(別 1)**: 484-485, 1994.
 16. In vitro propagation of thin-leaf sunflower (*Helianthus decapetalus* L.). HOSOKI, T., K. OHTA, K. INABA and M. HARISAKI, XXIVth Int. Hort. Cong. (Kyoto), p. 123, 1994.
 17. 中国ボタンの花粉発芽適温. 細木高志, 園学中四国支部要旨, **33**: 79, 1994.
 18. 水耕におけるミニトマトの果実品質に関する研究 (第 8 報) 裂果発生時間と完熟果実横径の日変化特性. 太田勝巳・細木高志・伊藤憲弘・稲葉久仁雄・松本 献, 園学雑, **63(別 1)**: 24-25, 1994.
 19. The initiation of minute cuts and the occurrence of cracking in cherry tomato fruit. OHTA, K., T. HOSOKI and K. INABA, XXIVth Int. Hort. Cong. (Kyoto), p. 208, 1994.
 20. 植物生長調節物質, 接ぎ木および断根処理が水耕トマト苗の生育に及ぼす影響. 浅尾俊樹・伊藤憲弘・細木高志・太田勝巳・遠藤啓太, 園学雑, **63(別 1)**: 364-365, 1994.
- 〔その他〕
1. The rate of leaf elongation in maize plants is sensitive to inhibition by soil drying in the absence of detectable shoot water deficit. KOBATA, T., International Symposium on Soil Moisture Control in Arid to Semi-Arid Region for Agro-Forestry (Tokyo), 1994.
 2. 研究紹介 ‘富有’における無核化の試み. 板村裕之, 島根の果樹, **16(6)**: 60-63, 1993.
 3. 研究紹介 カキの休眠打破剤について. 板村裕之, 同, **17(1)**: 50-52, 1994.
 4. カキ栽培の基礎 1. 板村裕之, 同, **17(1)**: 10-13, 1994.
 5. 同 2. 板村裕之, 同, **17(2)**: 9-13, 1994.
 6. 同 3. 板村裕之, 同, **17(3)**: 6-9, 1994.
 7. 同 4. 板村裕之, 同, **17(4)**: 8-9, 1994.
 8. 中国のサンザシ(1)―果実資源としての価値― 王 以蓮・冷 平・山村 宏, 果実日本, **49(4)**: 62-64, 1994.
 9. 同(2)―果実資源としての価値― 王 以蓮・冷 平・山村 宏, 同, **49(5)**: 8, 60-61, 1994.
 10. カキ(5) 結実の仕方. 山村 宏, 和歌山の果樹, **44(10)**: 34-37, 1993.
 11. 同(6) 種子形成と翌年の花着き. 山村 宏, 同, **44(12)**: 28-31, 1993.
 12. 同(7) 芽の発育と休眠. 山村 宏, 同, **45(2)**: 30-31, 1994.
 13. 同(8) 休眠特性と起源地. 山村 宏, 同, **45(4)**: 28-31, 1994.
 14. 同(9) 受粉・受精と生理落果. 山村 宏, 同, **45(6)**: 28-30, 1994.
 15. 同(10) 落果と植物ホルモンの関係. 山村 宏, 同, **45(8)**: 32-35, 1994.
 16. ミニトマトの裂果発生メカニズムについて. 太田勝巳, 施設園芸, **36(7)**: 18-21, 1994.

森林環境学講座

Forestry and Environment

北尾邦伸・井口隆史
Kuninobu KITAO Takashi IGUCHI
片桐茂夫・金子信博
Shigeo KATAGIRI Nobuhiro KANEKO
稲田充男・長山泰秀
Mitsuo INADA Yasuhide NAGAYAMA

〔著書〕

1. 土壌と森を失わないために(アースディ◎日本編「ゆがむ世界ゆらぐ地球」所収). 北尾邦伸, 学陽書房, 東京, pp. 66-67, 1994.
2. 天神川流域—資源成熟途上型—(林野庁監修「21世紀に向けた日本林業の新たな展開—森林の流域管理システムの確立を目指して—」所収). 北尾邦伸, 全国森林組合連合会, 東京, pp. 83-92, 1994.
3. 森林管理と組織間交流(多門院和夫編著「組織の時代」所収). 井口隆史, 農林統計協会, 東京, pp. 17-37, 1994.

〔論文〕

1. 萩市笠山のヤブツバキ群生林の林分構造. 片桐成夫・金子信博・三宅登, 西武舞鶴植物研究所報告, **8**: 10-21, 1994.
2. 森林土壌での窒素無機化の乾土効果への風乾程度の影響. 長山泰秀・真藤恭子・片桐成夫, 日林論, **104**: 373-374, 1993.
3. 森林土壌における土壌小型節足動物と糸状菌の相互作用. 金子信博, *Edaphologia*, **51**: 33-45, 1994.
4. 酸性降下物が森林土壌に与える影響—簡易な採水装置による樹幹流の影響調査法— 金子信博・加藤憲道・富永明良・Eric SALAMANCA・新村義昭, 日本林学会関西支部大会論文集, **3**: 65-68, 1994.
5. 酸性降下物が森林の生物群集の相互作用に与える影響. 1. 酸性降下物が土壌動物と分解微生物の相互作用に与える影響. 金子信博・肘井直樹・二井一禎, 日生態誌, **44**: 181-194, 1994.
6. 「みどりの担い手」の定着化—兵庫県一宮町森林組合の取り組み— 北尾邦伸・中川幸恵, 山陰地域研究, **10**: 53-59, 1994.
7. 簸川平野における「築地松」の保全について. 中川

- 幸恵・北尾邦伸, 森林文化研究, **14**: 193-201, 1993.
8. 林家自身による素材の生産・販売活動について. 井口隆史, 日林論, **104**: 137-140, 1993.
 9. 黒岩菊郎記念研究奨励賞受賞論文要旨「林分密度管理図に基づく人工林収穫予測表等の作成」. 稲田充男, 森林計画学会誌, **21**: 119-120, 1993.
 10. 松くい虫被N量推移モデルの誘導とその適合性. 稲田充男, 島根大農研報, **27**: 1-6, 1993.
 11. A model for the diameter distribution of trees in selection forests, INADA, M., *Jap. J. Biomet.*, **15**: 31-39, 1994.
 12. 上部直径値に基づく1変数材積表. 稲田充男・小山善寛, 日林誌, **76**: 175-177, 1994.
 13. 松くい虫被害量推移モデルによる被害量予測. 稲田充男, 日本林学会関西支部論文集, **3**: 29-32, 1994.
 14. 上部直径値に基づく1変数材積表の作成. 稲田充男・小山善寛, 同, **3**: 35-38, 1994.
 15. ビデオカメラによる立木幹材積の測定. 稲田充男・小山善寛・若杉弘文, 同, **3**: 39-42, 1994.

〔学会発表等〕

1. 乾燥温度のちがいが乾土効果の大きさに与える影響. 長山泰秀・真藤恭子・片桐成夫, 第105回日本林学会大会要旨集, p. 307, 1994.
2. くり返し風乾した土壌での乾土効果の発現パターン. 長山泰秀・高橋律雄・片桐成夫, 同, p. 308, 1994.
3. スギ人工林の枝打ち・間伐によるリターの動態の変化. 金子信博・富永明良・加藤憲道・片桐成夫, 同, p. 315, 1994.
4. 酸性降下物が森林土壌に与える影響—簡易な採水装置による樹幹流の影響調査法— 金子信博・加藤憲道・富永明良・Eric SALAMANCA・新村義昭, 日本林学会関西支部第44回大会研究発表要旨集, p. 25, 1993.
5. 樹幹流が土壌生物に与える影響—スギ人工林における野外実験— 金子信博・加藤憲道・富永明良・Eric SALAMANCA, 第105回日本林学会大会講演要旨, p. 433, 1994.
6. サラワク泥炭湿地林におけるリターフォールによる養分還元量. 金子信博・Aini ZAKARIA・Ernest CHAI Oi KHUN, 第4回日本熱帯生態学会年次大会講演要

旨集, p. 21, 1994.

7. イオウ・石灰散布に対するササラダニ群集の反応. 金子信博・M. A. McLEAN, 第17回日本土壤動物学会大会講演要旨集, p. 12, 1994.
 8. 松くい虫被害量推移モデルによる被害量予測. 稲田充男, 日本林学会関西支部第44回大会講演要旨集, p. 3, 1993.
 9. 上部直径値に基づく1変数材積表の作成. 稲田充男・小山善寛, 同, p. 6, 1993.
 10. ビデオカメラによる立木幹材積の測定. 稲田充男・小山善寛・若杉弘文, 同, p. 7, 1993.
 11. ビデオカメラによる上部直径測定の材積推定への応用. 稲田充男・小山善寛, 同, p. 230, 1994.
- 〔その他〕
1. マツクイムシ被害量推移モデルの誘導とその適合性 (片桐成夫代表「山陰地域人工林における森林環境の保全に関する基礎的研究」所収). 平成5年度島根大学特定研究成果報告書, 稲田充男, pp. 4-11, 1994.
 2. マツクイムシ被害林の植生回復にともなう種組成の変化 (同). 片桐成夫・金子信博・長山泰秀, 同, pp. 12-35, 1994.
 3. マツクイムシ被害林のリターフォール量について. 片桐成夫・金子信博・長山泰秀, 同, pp. 36-47, 1994.
 4. 山陰地方のマツ林の土壌の窒素肥沃度 (同). 長山泰秀・片桐成夫, 同, pp. 48-59, 1994.
 5. スギ人工林の間伐・枝打ちによる落葉分解の動態変化 (同). 金子信博・片桐成夫, 同, pp. 103-121, 1994.
 6. スギ人工林の間伐による土壌動物相の変化 (同). 金子信博, 同, pp. 122-127, 1994.
 7. マツ人工林施業の現状と基本的課題 (同). 北尾邦伸, 同, pp. 135-146, 1994.
 8. 人工林の社会的経済的諸問題の検討 (同). 井口隆史, 同, pp. 147-157, 1994.
 9. 流域林業活性化指針. 北尾邦伸他, 全国森林組合連合会, 東京, pp. 143, 1994.
 10. 「若者と機会」による林業社会の再構築 (全国林業労働力育成センター編「きりひらく道III」所収). 北尾邦伸, 全国林業労働力育成センター, 東京, pp. 67-78, 1994.
 11. 書評 (梅原猛・伊東俊太郎監修「森の文明・循環の思想」). 北尾邦伸, 週間エコノミスト, 4月26日号, pp. 102-103, 1994.
 12. 伐期に到達したパルプ分収林の現状と収益分収問題. 井口隆史, 平成6年度科学研究費(一般C)成果報告書, 54 pp., 1994.
 13. I 国土保全と資源維持管理 (岩谷三四郎代表「中山間地域振興調査研究報告(平成4年度)所収」). 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 中山間地域振興調査研究会, 庄原, pp., 10-28, 1994.
 14. 森林産物生産施設整備事業 (菌床ほだ木生産施設) (全国林業構造改善協会編「林業山村活性化林業構造改善事業計画診断書」所収). 井口隆史・谷口憲治・小河路均, 全国林業構造改善協会, 東京, 32 pp., 1993.
 15. 林産物加工施設整備事業 (製材加工施設) (同). 井口隆史・村瀬安英・小河路均, 同, 38 pp., 1994.
 16. I 国土保全と資源維持管理 (岩谷三四郎代表「中山間地域振興調査研究報告(平成5年度)」所収). 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 中山間地域振興調査研究会, 庄原, pp. 7-48, 1994.
 17. 温泉活用(三隅町編「三隅町資源発掘調査報告書」所収). 井口隆史, 島根県三隅町, pp. 45-53, 1994.
 18. Uターン促進 (同). 井口隆史, 同, pp. 105-116, 1994.
 19. 「森林と木の時代」をめざす. 井口隆史, 農林統計調査, 44(7): 18-22, 1994.
 20. 衛星データを利用した汽水域環境監視システム. 稲田充男, J. Pc-Forestry, 12: 12-17, 1994.
 21. 複素数によるモデル化. 稲田充男, 同, 12: 68-74, 1994.

環境生物学

Environmental Biology

駒田 且・野津幹雄
Hajimu KOMATA Mikio NOZU
前田泰生・本田雄一
Yasuo MAETA Yuichi HONDA
北村憲二・山本広基
Kenji KITAMURA Hiroki YAMAMOTO
荒瀬 栄・星川和夫
Sakae ARASE Kazuo HOSHIKAWA
長縄貴彦
Takahiko NAGANAWA

〔著書〕

1. 環境に対する生物の反応 1) 光と生物反応 (3) 微生物 (日本生物環境調節学会編「新版・環境ハンドブック」所収). 本田雄一, 養賢堂, 東京, pp. 118-124, 1994.
2. *Pyricularia oryzae* toxin(s) as a determinant of basic compatibility in blast disease. In KOMOTO, K. and O. C. YODER (eds.), *Host-Specific Toxin: Biosynthesis, Receptor and Molecular Biology*. ARASE, S., K. FUJITA, Y. HONDA and M. NOZU, The Organizing Committee of Tottori Univ., Tottori, pp. 141-152, 1994.

〔論文〕

1. 外生菌根菌による広葉樹(ミズメ)の生育促進. 駒田 且・今岡 貢・牛木千恵・山本広基, 土と微生物, **44**: 33-42, 1994.
2. 持続型農業と土壌病害管理. 駒田 且, システム農学, **10**: 149-159, 1994.
3. Effect of a fungicide, Chlorothalonil on cellulose decomposing process in soil. SUYAMA, K., H. YAMAMOTO, J. KUROKAWA and H. KOMATA, J. Pesticide Sci., **18**: 285-292, 1993.
4. Recommended tests for assessing the side-effects of pesticides on soil ecosystem. YAMAMOTO, H. SATO, A. KATAYAMA, S. KUWATUKA, I. WATANABE, K. INUBUCHI and K. SENO, Proc. 1st Int. Symp. Pesticide Sci., pp. 334-344, 1993.
5. Production of anti-fungal substance(s) in the "Sekiguchi leisen" induced by *Pyricularia oryzae* infection on rice cv. Sekiguchi-asahi. ARASE, S., K. MIYAKE, Y. HONDA and M. NOZU, Bull. Fac. Agr., Shimane Univ., **27**: 7-14, 1993.
6. The role of toxin(s) produced by germinating spores of *Pyricularia oryzae* in pathogenesis. FUJITA, K., S. ARASE, H. HIRATSUKA, Y. HONDA and M. NOZU, J. Phytopath., **142**: 245-252, 1994.
7. Morphological variation in spores produced by *Pyricularia oryzae* CARARA. ARASE, S., K. KATANO, X. LI and M. Nozu, Ibid., **142**: 253-257, 1994.
8. Diapause and non-delayed eusociality in a univoltine and basically solitary bee *Ceratina japonica* (Hymenoptera, Anthophoridae). II. Non-delayed eusociality induced by juvenile hormone analogue treatment. SAKAGAMI, S. F., Y. MAETA, S. NAGAMORI and K. SAITO, Jpn. J. Ent., **62**: 443-457, 1993.
9. Japanese Conopidae (Diptera): Their biology, overall distribution, and role as parasites of bumble bees (Hymenoptera, Apidae). MAETA, Y. and R. P. MACFARLANE, Ibid., **62**: 493-509, 1993.
10. 和ナシ園におけるマメコバチの利用. 前田泰生・郷右近勝夫・手塚俊行, 中国昆虫, **7**: 1-12, 1993.
11. キヌゲハキリバチに関する若干の生態的知見. 郷原匡史・前田泰生・日浅雅也, 同, **7**: 29-34, 1993.
12. ブラジル産カベハリナシバチにける人工給餌器を用いた糖類の選択性. 手塚俊行, 同, **7**: 41-45, 1993.
13. 鳥取県弓ヶ浜における夏のハナバチ相. 日浅雅也・郷原匡史・前田泰生, 同, **7**: 47-49, 1993.
14. A new host record of *Xenos (Nipponoxenos) vespularum* KIFUNE et MAETA. MAETA, Y., Chugoku Kontyu, **7**: 50, 1993.
15. Behavior of the Indian allodapine bee *Braunsapis kaliago*, a social parasite in the nests of *B. mixta* (Hymenoptera: Anthophoridae). BATRA, S. W. T., S. F. SAKAGAMI and Y. MAETA, J. Kansas ent. Soc., **66**: 345-360, 1993.
16. 青森県八甲田山においてウラジロヨウラクを訪花する2種のマルハナバチ類の日周性. 手塚俊行・前田泰生, New Entomol., **42**: 36-43, 1993.
17. 三瓶山における草原性半翅目昆虫類の群集構造. 北村憲二, 中国昆虫, **7**: 13-23, 1993.

18. 中海・宍道湖に生息するトンボ類とその塩分耐性. 竹内和彦・星川和夫, *Laguna*, **1**: 59-64, 1994.

[学会発表等]

1. 養液栽培におけるトマト青枯病のトマト根面細菌による生物防除. 駒田 且・才上 誠・山本広基, *日植病報*, **60**: 327, 1994.
2. 養液栽培におけるトマト萎ちょう病の非病原性 *Fusarium oxysporum* による生物防除 2. 防除機作について. 磯崎真英・駒田 且・山本広基, 同, **60**: 334, 1994.
3. 持続型農業と土壤病害管理. 駒田 且, システム農学会10周年記念シンポジウム(持続型農業システムの課題) 要旨集, pp. 28-39, 1994.
4. 土壌くん蒸剤処理土壌のフザリウム病助長原因. 駒田 且・成谷安和・山本広基, 1994年度土壌微生物研究会講演要旨集, p. 8, 1994.
5. 外生菌根菌による広葉樹(ミズメ)の生育促進. 駒田 且・今岡 貢・牛木千恵・山本広基, 同, pp. 19-20, 1994.
6. 農業と環境. 山本広基, 日本農薬学会公開セミナー(農業と環境と安全性シンポジウム), 第11回講演集, pp. 20-39, 1993.
7. 土壌生態系に及ぼす農薬の影響評価試験法の検証. 山本広基・小田頭彦・巢山弘介, 日本農薬学会第19回大会講演要旨集, p. 157, 1994.
8. 土壌中のセルロース基質におけるCMCase活性. 山本広基・佐藤七菜・巢山弘介・駒田 且, 日本土壤肥料学会講演要旨集, **40**: 40, 1994.
9. Effect of fungicide chlorothalonil on cellulose decomposition and microflora in soil. YAMAMOTO, H. and K. SUYAMA, IUPAC 8th Intl. Cong. Pesticide Sci., **2**: 552, 1994.
10. ユリ類葉枯病菌 (*Botrytis elliptica*) における子のう盤形成. 塚本俊秀・磯田 淳・本田雄一・日植病報, **59**: 744, 1994.
11. イネいもち病菌分生孢子発芽液中に存在する毒物質(11) 毒処理したイネ葉細胞の微細構造. 植原珠樹・荒瀬 栄・本田雄一・野津幹雄・朴 杓充, 同, **60**: 318, 1994.
12. メヒシバいもち病菌の生成する感染誘導因子. 荒瀬 栄・重岡里恵・本田雄一・野津幹雄, 同, **60**: 318, 1994.
13. イネ品種ヒメノモチの突然変異株のイモチ病菌に対する反応. 藤田圭二・荒瀬 栄・本田雄一・野津幹雄・門脇義行・磯田 淳, 同, **60**: 329, 1994.
14. イネいもち病菌の異常形態孢子. 片野恭嗣・荒瀬 栄・本田雄一・野津幹雄, 同, **60**: 345, 1994.
15. イネ組織のTEM試料作成法の検討. 植原珠樹・朴杓充・荒瀬 栄・本田雄一, 医学, 生物学研究会, 1994.
16. 土壤消毒後の有機物施用が微生物の生態系に関する研究. 難波信行・本田雄一, 土壤肥料学会九州支部秋季大会講演要旨集, 1994.
17. なぜキムネクマバチはブルーベリー (*Vaccinium* spp.) で盗蜜するのか? 手塚俊行・前田泰生, 日本昆虫学会第54回大会・日本応用動物昆虫学会第38回大会合同大会講演要旨集, p. 186, 1994.
18. フタモンカタコハナバチ *Lasioglossum (Lasioglossum) scitulum* (SMITH) の母子共存巣における産卵行動とカスト分化. 宮永龍一・前田泰生, 同, p. 199, 1994.
19. ドウダンツツジの花蜜分泌パターンと訪花ハナバチ相. 応用動・中国支報, **36**: 71, 1994.
20. スミゾメハキリバチの生態. 郷原匡史・前田泰生, 日本昆虫学会東北支部第42回大会, 1994.
21. ハチを利用して実をつける自然農法. 前田泰生, 平成6年度島根大学公開講座(知夫村の自然・教育・文化), 1994.
22. 宍道湖・中海の汽水影響域に生息するトンボ幼虫の耐塩性の季節変化. 竹内和彦・星川和夫, 日本昆虫学会第54回大会・日本応用動物昆虫学会第38回大会合同大会講演要旨集, p. 150, 1994.

[その他]

1. 養液栽培における土壤伝染病の生物防除 その戦略と展望. 駒田 且, 植物防疫, **48**: 413-417, 1994.
2. 土壌生態系に及ぼす農薬の影響評価のための推奨試験 1. 検討の経緯とデータの解釈. 山本広基, 農業環境科学研究, **1**: 45-51, 1993.
3. 土壌微生物に及ぼす除草剤の影響. 山本広基, 植調, **27**: 313-319, 1993.
4. 「農薬危険論」は慎重に. 山本広基, 読売新聞(論点), 12月29日号, p. 12, 1993.
5. 農薬を散布された人工林の土壌微生物相とセルロース分解(片桐成夫代表「山陰地域人工林における森林環境の保全に関する基礎研究」所収). 山本広基・巢山弘介, 平成5年度島根大学特定研究成果報告

- 書, pp. 84-91, 1994.
6. 臨界環境下における植物-微生物の生態系に関する研究. 本田雄一・柴田 均・内藤陽子・熊谷 忠, 東北大遺伝生態研センター年報, **1994**: 36, 1994.
 7. Necrosis formation on rice leaves. ARASE, S., Y. HONDA and M. NOZU, Rice Biotech. Quart., **19**: 4, 1994.
 8. いもち病菌の生成する感染誘導因子. 荒瀬 栄, 植物防疫, **48**: 23-26, 1994.
 9. 分離器 (Disjantor). 野津幹雄・本田雄一・荒瀬 栄, 島根病虫研報, **19**: 26-33, 1994.
 10. カキのうどんこ病菌 (*Phyllactinia kakicola*) の子のう殻. 同, **19**: 34-41, 1994.
 11. 三瓶山の昆虫相とその保全 三瓶山のメバエとハナアブ (島根県編「特定地域野生生物緊急調査事業 (平成3年度) 報告書」所収). 前田泰生, 島根県, pp. 60-63, 1993.
 12. 同 三瓶山の膜翅目類 (同). 前田泰生, 同, pp. 64-71, 1993.
 13. 同 三瓶山におけるハナバチ相の生態調査 (同). 前田泰生・宮永龍一, 同, pp. 171-202, 1993.
 14. 琴引山の昆虫類, 琴引山の有剣ハチ目昆虫相 (島根県編「特定地域野生生物緊急調査事業 (平成4年度) 報告書」所収). 前田泰生・郷原匡史, 島根県, pp. 17-22, 1993.
 15. 邑智地域の昆虫類, 大内町の有剣ハチ目昆虫相 (同). 前田泰生・郷原匡史, 同, pp. 20-21, 1993.
 16. 瑞穂町の昆虫類, 瑞穂町のネジレバナネ目昆虫相 (同). 前田泰生・郷原匡史, 同, pp. 37, 1993.
 17. 瑞穂町の有剣ハチ目昆虫相 (同). 前田泰生・郷原匡史, 同, pp. 38-46, 1993.
 18. マグラメバエ *Myopa buccata*. 前田泰生, インセクトリウム, **31**: 162, 1994.
 19. ハナバチ類の巣およびコロニーの管理技術の開発 (農林水産技術会議事務局編「農林水産生態秩序の解明と最適制御に関する総合研究, 平成5年度研究報告」所収). 前田泰生, 農林水産技術会議事務局, pp. 38-39, 1994.
 20. アカマツ二次林への殺虫剤散布によるクモ群集の変化 (片桐成夫代表「山陰地域人工林における森林環境保全に関する基礎研究」所収). 北村憲二, 平成5年度島根大学特定研究費研究成果報告書, pp. 74-83, 1994.
 21. カマバチ類の寄生・捕食者としての特性に関する研究. 北村憲二, 平成5年度科学研究補助金 (一般C) 研究成果報告書, 31 pp., 1994.
 22. 環境アセスメントは何を測るべきか 昆虫相調査からわかること. 星川和夫, 農業環境科学研究, **1**: 21-28, 1993.
 23. 三瓶山の昆虫相とその保全 三瓶山の自然と本調査の概要 (島根県編「特定地域野生生物緊急調査事業 (平成3年度) 報告書」所収). 星川和夫, 島根県, pp. 1-10, 1993.
 24. 同 三瓶山のその他の昆虫 (同). 星川和夫, 同, pp. 110-112, 1993.
 25. 同 三瓶山の環境構造: 蛾類相からの解析 (同). 星川和夫, 同, pp. 113-140, 1993.
 26. 同 総括 昆虫相からみた三瓶山の環境保全上の留意点 (同). 星川和夫, 同, pp. 218-220, 1993.
 27. 浜田・江地区の昆虫類 調査結果の概要 (同). 星川和夫, pp. 2-3, 1993.
 28. 瑞穂町の昆虫類 瑞穂の蛾類群集 (島根県編「特定野生生物緊急調査事業 (平成4年度) 報告書」所収). 星川和夫, 島根県, pp. 58-71, 1993.
 29. 同 瑞穂町の自然と環境保全上の留意点 (同). p. 82, 1993.
 30. 環境アセスメントへの提言: 蛾群集による生物多様性の評価 (石井 実編「自然保護と研究者の役割V」所収). 星川和夫, pp. 18-24, 1994.

地域開発学科 Regional Development

農山村地域経営学

Rural Management

北川 泉 ・ 平塚 貴彦
Izumi KITAGAWA Takahiko HIRATSUKA
仙田 久仁男 ・ 猪股 趣
Kunio SENDA Itaru INOMATA
内田 和義 ・ 伊藤 康宏
Kazuyoshi UCHIDA Yasuhiro ITO

〔著書〕

1. 豊秋農笑種 (徳永光俊編「日本農書全集 61 農法普及 I」所収). 内田和義, 農山漁村文化協会, pp. 25-75, 1994.

〔論文〕

1. 山陰地域漁業史研究の課題－関東地域の漁業史の成果から学ぶ－ 伊藤康宏, 島根史学会会報, 24: 1-13, 1993.
2. 宍道湖沿岸地域における漁業と農業の関連構造分析. 永田恵十郎・野田公夫・伊藤康宏, 汽水湖研究, 3: 25-44, 1993.
3. 地域漁業史の研究 解題. 伊藤康宏, 漁業経済研究, 33(1): 45-59, 1994.
4. 中山間地域の農業振興方策と政策課題. 平塚貴彦, 北陸農試農業経営研究資料, 42: 1-16, 1994,
5. 農業経営に対する農家世帯員間の意向の相違と地域農業の再編－島根県加茂町の事例を中心に－ 平塚貴彦・引野千嘉志, 山陰地域研究, 10: 43-53, 1994,

〔その他〕

1. 出雲・簸川地区合併JAの農業振興ビジョン・生活生活ビジョン. 平塚貴彦, 出雲・簸川地区JA合併研究委員会, 出雲, 81 pp., 1994,
2. 琵琶湖・漁業相論 (網野善彦ら編「日本史大事典第5巻」所収). 伊藤康宏, 平凡社, 東京, p. 1341, 1993.
3. 鱒 (網野善彦ら編平凡社「日本史大事典第5巻」所収). 伊藤康宏, 平凡社, 東京, p. 1341, 1993.

4. 火力発電所の有効活用－地域産業振興, 産業融合の観点から－ (三隅町編「三隅町資源発掘調査報告書」所収). 伊藤康宏, 島根県三隅町, 三隅町, pp. 17-25, 1994.
5. 統談・デカップリング政策の論点. 平塚貴彦, 農林統計調査, 43(11): 2-3, 1993.

農林システム学

Agricultural and Forestry Systems Design

岩尾俊男・中尾清治
Toshio IWAO Seiji NAKAO
濱田年騏・藤浦建史
Toshiki HAMADA Tateshi FUJIURA
渡部晴基・竹山光一
Haruki WATANABE Kouichi TAKEYAMA
伊藤勝久・大森賢一
Katsuhisa ITO Kenichi OMORI
林圭脛
Gyuwan IM

〔論文〕

1. 土壌密度分布とトウモロコシ根系パターンの関係. 渋沢 栄・国立卓生・岩尾 俊男・藤浦建史, 農機誌, **55(5)**: 111-118, 1993.
2. 野菜用多機能ロボットの研究(第1報). 土肥 誠・藤浦建史・中尾清治・小松 実, 同, **55(6)**: 77-84, 1993.
3. Multipurpose robot for vegetable production. DOHI, M., T. FUJIURA and S. NAKAO, ASAE Paper, **943070**: 1-8, 1993.
4. 養液栽培システムの改善に関する研究(I)ー吸気ノズルの吸気特性ー 岩尾俊男・房 薇・林 圭脛・竹山光一・藤浦建史・浅尾俊樹, 島根大農研報, **27**: 15-22, 1993.
5. 4軸回転翼型RCヘリコプタの開発に関する基礎研究(1)本機の試作. 中尾 清治・吉田忠彦・藤浦建史・姚 劍亭, 同, **27**: 23-26, 1993.
6. 農業・農村における情報ネットワーク充実の諸課題について. 竹山光一・岩尾 俊男・林 圭脛・藤浦建史, 同, **27**: 27-32, 1993.
7. 養液栽培システムの改善に関する研究(II)ートマトの生長量と溶存酸素量及び蒸散流量との関係ー 林 圭脛・房 薇・岩尾俊男・藤浦建史・竹山光一, 同, **27**: 33-38, 1993.
8. 画像処理による青果物の損傷検出システム(第2報). 李 曉明・岩尾俊男・藤浦建史・渋澤 栄・竹山光一・毛利建太郎, 農機誌, **56(1)**: 37-44, 1994.
9. キュウリ収穫ロボットの研究(第1報). 有馬誠一・近藤 直・芝野保徳・山下 淳・藤浦建史・秋好広明, 同, **56(1)**: 55-64, 1994.
10. 野菜用多機能ロボットの研究(第2報). 土肥 誠・藤浦建史・中尾清治・岩尾俊男・竹山光一, 同, **56(2)**: 101-108, 1994.
11. 乗用田植機の走行制御に関する研究(第2報). 野波和好・小松 実・樋口英夫・中尾清治・足立憲一, 同, **56(3)**: 77-84, 1994.
12. トラクタ及びロータリの故障・予防保全の実態調査. 周 朝・樋口英夫・小松 実・岩尾俊男, 同, **56(3)**: 93-100, 1994.
13. 堆肥埋込作業機の開発(1)ーラセンによるパーク堆肥埋込実験(埋込深さ浅い場合)ー 中尾清治・藤浦建史・ハヶ代敏夫・山本克也, 農業機械学会関西支部報, **76**: 21-22, 1994.
14. 堆肥埋込作業機の開発(2)ーラセンによるパーク堆肥埋込実験(埋込深さ深い場合)ー 中尾清治・藤浦建史・山本克也・ハヶ代敏夫, 同, **76**: 23-24, 1994.
15. RCヘリロータによる薬剤散布のモデル実験. 中尾清治・藤浦建史・吉田忠彦・姚 劍亭・山根和幸, 同, **76**: 25-26, 1994.
16. バイオマスベットの物理特性に関する研究. 岩尾俊男・竹山光一・林 圭脛・霜里康浩・天野 剛, 同, **76**: 27-28, 1994.
17. 立形燃焼機の燃焼制御に関する研究. 岩尾俊男・竹山光一・林 圭脛・霜里康浩・福島貴志, 同, **76**: 29-30, 1994.
18. レタス選択収穫ロボットの研究(1)ーロボットの構成と収穫ハンドー 藤浦建史・中尾清治・高 衛民・土肥 誠・上村高弘・磯貝義夫・塚本成史, 同, **76**: 81-82, 1994.
19. レタス選択収穫ロボットの研究(2)ー三次元形状による結球レタスの認識ー 藤浦建史・中尾清治・高 衛民・土肥 誠・上村高弘・塚本成史・磯貝義夫, 同, **76**: 83-84, 1994.
20. ミニトマト収穫ロボットの研究(1)ーロボットの構成と収穫ハンドー 藤浦建史・中尾清治・I DEWA MADE SUBRATA・湯川琢至・桧田 賢・山田久也, 同, **76**: 87-88, 1994.
21. ミニトマト収穫ロボットの研究(2)ー三次元センサによる作物の認識ー 藤浦建史・中尾清治・I DEWA MADE SUBRATA・桧田 賢・湯川琢至・山田久也, 同, **76**: 89-90, 1994.
22. DO値がトマトの生長に及ぼす影響ー茎径についてー 岩尾俊男・竹山光一・林 圭脛・房 薇・筒井

- 大輔, 同, 76:147-148, 1994.
23. 同一全重量について— 岩尾俊男・竹山光一・林圭腕・房 薇・弥原治積厚, 同, 76:149-150, 1994.
 24. キュウリ収穫ロボットの研究(第2報). 有馬誠一・近藤 直・芝野保徳・藤浦建史・山下 淳・秋好広明, 農機誌, 56(6):69-76, 1994.
 25. Control method for 7 DOF robot to harvest tomato. KONDO, N., M. MONTA, T. FUJIURA, Y. SHIBANO and K. MOHRI, Proc. ASCC, Tokyo, pp. 1-4, 1994.
 26. 小規模和牛繁殖経営の展開条件. 浜田年駿, 畜産の研究, 48:205-210, 1994.
 27. 島根県過疎地域における若者定住意識(上). 渡部晴基, 農政調査時報, 444:13-26, 1993.
 28. 島根県過疎地域における若者定住意識(下). 渡部晴基, 同, 445:14-29, 1993.
 29. 農産物無人市の展開と意義—島根県石見町の井原西区農業生産組合の事例— 渡部晴基・柳楽紀美子・曾田美保子, 山陰地域研究, 10:115-130, 1994.
 30. 農山村居住者の景観意識分析と景観整備の方向性. 伊藤勝久・藤居良夫・大森賢一, 日林論, 104:305-308, 1993.
 31. 間伐・小径材製品のマーケティング戦略の課題. 伊藤勝久, 同, 104:149-152, 1993.
 32. コンティジェント評価法による農村景観の経済的価値の計測. 大森賢一・藤居良夫・伊藤勝久. 山陰地域研究(農山村編), 10:93-102, 1994.
 33. 中山間地域における若年層の定住条件. 大森賢一, 農業計算学研究, 26:121-128, 1993.
 34. 中山間地域開発とインフラストラクチャ整備に関する研究. 大森賢一, 京都大学博士論文, 214 pp., 1994.
- チャオプラヤデルタ(タイ)の塩害防除および海岸淡水貯水槽の研究. 南 勲・竹山光一・喜多威知郎・北村邦彦・B. T. VNONG, 同, 1:67-76, 1994.
5. 出雲ドームにみる雨水の利用について, 竹山光一, 同, 1:87-90, 1994.
 6. 水管理の改善「円筒型—自動定量分水装置」. 進士直樹・竹山光一・北村邦彦・喜多威知郎・南 勲, 同, 1, 91-94, 1994.
 7. 地域農業の担い手としての女性の役割. 浜田年駿, 地域農林経済学会中国支部会講演要旨集, pp. 1-11, 1993.
 8. 肉用牛生産の現状と諸課題. 浜田年駿, 同, pp. 1-8, 1994.

〔その他〕

1. パソコン通信について. 竹山光一, 島根大学情報処理センター広報, 5:156-159, 1993.
2. 島根県におけるJA婦人部の役割と組織強化. 浜田年駿, 島根県農協婦人組織協議会, 松江, 40 pp., 1994.
3. 島根県におけるJA青年部の役割と組織. 浜田年駿, 島根県農協青年連盟, 松江, 37 pp., 1994.
4. 地域特産物の振興方策(全国農業構造改善協会編「島根県松江市における農業農村活性化推進事業について」所収). 浜田年駿, 全国農業構造改善協会, 東京, pp. 15-29, 1994.
5. 広域JA合併に伴うJAと行政組織等との連携システムに関する調査・研究(島根県農協地域振興センター編「調査・研究・開発に関する報告書」所収). 渡部晴基, 島根県農協地域振興センター, 松江, pp. 1-12, 1994.
6. 統一課題:地域農業の活性化と女性の役割(中国支部大会報告). 渡部晴基, 農林業問題研究, 114:43-45, 1994.
7. 島根県大和村 活動拠点施設整備事業—林業山村活性化林構造計画診断書— 伊藤勝久, 全国林業構造改善協会, 東京, 44 pp., 1993.
8. 島根県六日市町—同一伊藤勝久, 同, 40 pp., 1994.
9. 第2章 菌床シタケの生産振興; 第3章 地域資源利用と活性化への方策(全国農業構造改善協会編「島根県仁多町における需要創造型農業推進農業構造改善事業について—農構特別コンサル意見書—」所収). 伊藤勝久ほか, 全国農業構造改善協会, 東京, pp. 16-35; 62-79, 1994.

〔学会発表〕

1. 離島における雨水利用システムの一事例について—瀬戸内海中島におけるソーラーシステム利用例— 井手光男・大原健三・竹山光一・筒井 暉, 農業土木学会中国四国支部講演要旨, 48:185-187, 1993.
2. グリーンハウスにおける雨水利用について. 竹山光一・南 勲, Proc. JIRCSA, 1:17-20, 1994.
3. 離島における雨水利用システムの一事例について(2). 井手光男・樋口 昭・大原健三・竹山光一・筒井 暉, 同, 1:50-56, 1994.
4. 浮遊式ゲートを用いたメコンデルタ(ベトナム)・

10. 国土保全と資源維持管理の課題と対策（中山間地域振興会編「中山間地域振興調査報告（平成4年度研究成果）」所収）. 北川 泉・井口隆史・伊藤勝久, 中山間地域振興調査研究会, 庄原, pp. 7-48, 1994.
11. 平成5年度 林業雇用改善促進事業 研究結果報告書. 伊藤勝久, 林業雇用改善研究委員会・島根県森林組合連合会, 松江, 94 pp., 1994

農村工学

Rural Engineering

今尾昭夫・鳥山暁司
Akio IMAO Koushi TORIYAMA
福桜盛一・福島 晟
Shigekazu FUKUSAKURA Akira FUKUSHIMA
野中資博・藤居良夫
Tsuguhiko NONAKA Yoshio FUJII
武田育郎・木原康孝
Ikuo TAKEDA Yasutaka KIHARA
森 也寸志
Yasushi MORI

〔論文〕

1. 長短期流出両用モデルの分布型流域モデルへの適用. 福島 晟・武田育郎, 島根大農研報, **27**: 39-46, 1993.
2. 水質環境環境解析—非定常汚濁負荷量の推定— 武田育郎, 農土誌, **61**: 1153-1159, 1993.
3. 非作付期間の田からの水質汚濁物質の表面流出. 國松孝男・羅 栄・須戸 幹・武田育郎, 農土論集, **170**: 45-54, 1994.
4. 水田土壌における根成孔隙の形成と形態に関する研究. 森也寸志・渡辺紹裕・丸山利輔, 同, **171**: 13-20, 1994.
5. 非粘着性材料の剪断強度式について—凝灰岩と砂礫での事例— 鳥山暁司, 同, **167**: 109-115, 1993.
6. 締固めた砂礫材の剪断特性のひずみ依存性について—河床砂礫と凝灰岩の事例— 鳥山暁司, 同, **168**: 45-50, 1993.
7. 締固めた非粘着性材料の剪断強度式の諸係数の特性について. 鳥山暁司, 島根大農研報, **27**: 47-56, 1993.
8. 松江市の教育施設空間における接道部の景観緑化に関する研究. 藤居良夫, 山陰地域研究, **10**: 83-92, 1994.
9. コンティンジェント評価法による農村景観の経済的価値の計測. 大森賢一・藤居良夫・伊藤勝久, 同, **10**: 93-102, 1994.
10. コンピュータ画像処理を用いた農山村地域における河川環境整備手法に関する研究. 藤居良夫, 農土論集, **170**: 35-44, 1994.

11. 景観デザインの数量的評価法の一手法. 藤居良夫, 農土誌, 62: 723-728, 1994.

[学会発表等]

1. 流域のモデル化と長短期流出両用モデルの分布型適用. 福島 晟, 48回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 214-216, 1993.
2. 長短期流出両用モデルの分布型流域モデルへの適用例. 福島 晟, 平 6 農土学会大会講演要旨, pp. 318-319, 1994.
3. 循環灌漑を伴う水田流域の水質浄化機能の評価(その2). 武田育郎・福島 晟, 同, pp. 392-393, 1994.
4. 軟X線を使った水田土壌内部の透水・排水現象の可視化. 森也寸志・福島 晟・渡辺紹裕・丸山利輔, 48回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 64-66, 1993.
5. 軟X線を用いた水田土壌中の透水・排水現象の可視化(3) - 画像処理による現象変化の表現 - 森也寸志・福島 晟・渡辺紹裕・丸山利輔, 平 6 農土学会大会講演要旨, pp. 148-149, 1994.
6. 地下水位一定カラムからの蒸発に伴う水分・塩分・熱の連成輸送. 木原康孝・増山 晃・福桜盛一・今尾昭夫, 48回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 133-135, 1993.
7. レキ層の土壌中における水分・塩分・熱の移動(II). 木原康孝・靱井和朗・大槻恭一, 平 6 農土学会大会講演要旨, pp. 110-111, 1994.
8. 締固めた非粘着性材料の剪断強度式の係数について. 鳥山暁司, 48回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 37-39, 1993.
9. 均等な粒径の砂礫材の剪断特性について. 鳥山暁司, 平 6 農土学会大会講演要旨, pp. 18-19, 1994.
10. 汚水処理施設におけるコンクリート微生物腐食の腐食要因の追跡. 野中資博, 48回農土学会中四国支部講演要旨, pp. 57-59, 1993.
11. 逆T形擁壁への限界状態設計法の適用について. 相野秀樹・野中資博, 同, pp. 48-50, 1993.
12. 生物易付着性および難付着性コンクリートの開発. 野中資博・遠藤 均, 平 6 農土学会大会講演要旨, pp. 240-241, 1994.
13. 開水路への限界状態設計法の適用に関する問題点. 相野秀樹・高 克義・野中資博, 同, pp. 84-85, 1994.

[その他]

1. 益田干拓農地造成域における流出解析事例(四方田穆代表「造成農地における計画排水量決定のための洪水流出モデルの総合化に関する研究」所収). 田中礼次郎・福島 晟・武田育郎, 平成 5 年度科学研究費補助金(試験B)研究成果報告書, p. 41, 1994.
2. 長短期流出両用モデルの分布型流域モデルへの適用(同). 福島 晟・武田育郎, 同, pp. 42-49, 1994.
3. 分布型流域モデルを組込んだ流出解析法の検討(同). 福島 晟, 同, pp. 50-58, 1994.
4. 網場川流域の水質・水文特性について(農業土木学会編「斐伊川下流域農業農村整備調査委員会報告書」所収). 農業土木学会, 東京, 武田育郎, pp. 28-43, 1994.
5. レキ層のある土壌中における水分・塩分の移動. 木原康孝・大槻恭一・靱井和朗, 乾燥地研究センター平成 5 年度共同研究発表会講演要旨・資料集, pp. 42-43, 1993.
6. 浸潤過程における土壌水分の動態に関する研究(今尾昭夫代表「傾斜農地の土・水移動に対するビニールマルチの影響に関する研究」所収). 木原康孝, 平成 5 年度科学研究費補助金(一般B)研究成果報告書, pp. 27-45, 1994.
7. 土壌水分動態に関するシミュレーション(畑地農業振興会編「平成 5 年度丹後地区農地造成保全等調査報告書」所収). 福桜盛一・木原康孝, 畑地農業振興会, 東京, pp. 120-135, 1994.
8. 畑地用水計画とファームポンド貯水量(畑地農業振興会編「平成 5 年度東伯農業水利事業末端かんがい施設計画等検討委託業務報告書」所収). 木原康孝, 畑地農業振興会, 東京, pp. 1-12, 1994.
9. Dr. John DEANの研究について(日本プレキャストタンク協会編「容器構造物へのプレキャスト工法利用に関するニュージーランド調査団報告書」所収). 日本プレキャストタンク協会, 東京, 野中資博, pp. 3-10, 1993.
10. コンクリート構造物における微生物腐食の調査・診断手法(工業技術会編「最新の下水道施設におけるコンクリート腐食対策と調査・改修技術講習会テキスト」所収). 工業技術会, 東京, 野中資博, pp. 3/13-3/22, 1994.
11. コンクリート微生物腐食の機構と対策 - コンクリート構造物の防食と補修の考え方 - (九州橋梁・構造工学会地下埋設コンクリート構造物の耐久性向

上に関する研究分科会編「地下埋設RC構造物の耐久性向上に関する講習会テキスト」所収). 九州橋梁・構造工学研究会, 福岡, 野中資博, pp. 11-27, 1994.

生物資源科学科 Natural Resources

生物材料工学

Materials Science and Technology of Natural Products

高橋 徹・田中千秋
Akira TAKAHASHI Chiaki TANAKA
古野 毅・中尾哲也
Takeshi FURUNO Tetsuya NAKAO
上原 徹
Tohru UEHARA

〔著書〕

1. 第3章第1節 針葉樹材の細胞の種類と特徴; 第4章第1節 広葉樹材の細胞の種類と特徴; 第4章第7節 特殊細胞と細胞内容物 (古野 毅・澤辺 功編, 「木材科学講座2 組織と材質」所収)古野 毅, 海青社, 大津, pp. 41-44; 57-60; 80-88, 1994.

〔論文〕

1. 長さ方向に材質分布をもつ木材梁の両端自由たわみ振動. 西野吉彦・藤本 隆・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 木材学会誌, **39**: 1349-1355, 1993.
2. 木工用帯鋸の最適化適応制御に関する研究 (第4報). 趙 春瑞・田中千秋・中尾哲也・高橋 徹, 同, **39**: 1356-1362, 1993.
3. 異方性モーメントテンソル解析法の木材への応用. 中尾哲也, 同, **40**: 95-99, 1994.
4. ホルマール化木材に吸着した水の誘電緩和. 趙広傑・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, **40**: 258-262, 1994.
5. 木質ボードの曲げヤング率に及ぼすせん断力, むり込み, 及びたわみ速度の影響. 董 玉庫・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹・西野吉彦, 同, **40**: 481-490, 1994.
6. 木材中を伝搬する音波の変化を利用した節の探傷. 小玉泰義・秋鹿為之・中尾哲也・高橋 徹, 同, **40**: 513-518, 1994.
7. ペネフィット構造分析法による住宅の住み心地の調査研究. 中尾哲也・岩切祥子・中尾寛子・高橋 徹・

- 田中千秋・西野吉彦, 同, 40:703-709, 1994.
8. 種子植物に対する木酢液の発芽, 成長促進作用. 上原 徹・堀尾義明・古野 毅・城代 進, 同, 39:1415-1420, 1993.
 9. Resin acids from extracts of pine cones of *kurumatsu* (*Pinus thunbergii*). YANO, S. and T. FURUNO, *Mokuzai Gakkaishi*, 40:72-77, 1994.
 10. Activities of leaf oils and their components from lauraceae trees against house dust mites. FURUNO, T., Y. TERADA, S. YANO, T. UEHARA and S. JODAI, *Ibid.*, 40:78-87, 1994.
 11. Improvement of the durability of wood by acryl-high-polymer (VIII), Measurement of polymer adsorption onto wood by piezoelectric quartz crystal. FUJIMURA, T., T. FURUNO, Y. IMAMURA and S. JODAI, *Ibid.*, 40:36-43, 1994.
 12. アクリルコポリマー処理した木材の生物劣化抵抗性 (第2報) 安定化剤の抵抗性向上に及ぼす影響. 藤村 庄・柳 在潤・井上守正・今村祐嗣・古野 毅・城代 進, *木材保存*, 29:72-80, 1994.
 13. 難注入性木材の液体浸透 (第2報) 放射方向の浸透性と組織的特徴. 谷川 充・古野 毅・城代 進・園部宝積, *木材学会誌*, 40:328-335, 1994.
 14. ヒノキ (*Chamaecyparis obtusa*) 幼苗から放散されるモノテルペン類に及ぼすエチレンの影響. 加藤定信・上原 徹・古野 毅・城代 進, 同, 40:419-423, 1994.
 6. 各種処理したスプルース材の超音波領域を含む振動特性. 程 鵬・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹・矢野浩之, 同, p. 432, 1994.
 7. ENFによるモードIIのモーメントテンソル解析. 中尾哲也・田中千秋・高橋 徹・西野吉彦, *日本木材学会中国四国支部第6回研究発表会要旨集*, pp. 78-79, 1994.
 8. 小型簡易音響槽による木質パネルの透過損失. 姜日順・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, pp. 82-83, 1994.
 9. 紫外線照射による木材表面の顕微化学的变化. 朴秉守・古野 毅・上原 徹・城代 進, *第44回日本木材学会大会研究発表要旨集*, p. 141, 1994.
 10. 木材へのコロナ放電処理がきのこの成長に与える効果. 原田和信・神之田和久・上原 徹・城代 進・古野 毅・大平都男, 同, p. 273, 1994.
 11. *Chaetomium cochliodes* による(-)ーカリオフィレンの微生物変換. 矢野省一・上原 徹・古野 毅・高橋 徹・中村利家, *日本木材学会中国・四国支部第6回研究発表会要旨集*, pp. 96-97, 1994.
 12. セルロースのアセチル化に及ぼすコロナ放電処理の影響. 高橋宜之・上原 徹・古野 毅・大森保幸, 同, pp. 102-103, 1994.
 13. 水ガラスーホウ素化合物系による無機質複合木材の寸法安定性と耐朽性. 栗生 剛・古野 毅・上原 徹, 同, pp. 106-107, 1994.

[学会発表等]

1. レポートリーグリッド法による住宅の住み心地の調査研究. 岩切祥子・森美杉・中尾哲也・高橋 徹・田中千秋・西野吉彦, *第44回日本木材学会大会要旨集*, p. 163, 1994.
2. 床衝撃音の改善量とコスト, エネルギー消費量の関係. 大野省三・中尾哲也・高橋 徹・田中千秋・西野吉彦, 同, p. 171, 1994.
3. 繊維材料補強合板の接着性と強度特性. 徐 圻・田中千秋・中尾哲也・高橋 徹・西野吉彦, 同, p. 109, 1994.
4. 断面内不均質木質材料の動的解析に関する研究. 董玉庫・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹・西野吉彦, 同, p. 110, 1994.
5. 劣化過程にある木材梁の両端自由たわみ振動. 西野吉彦・藤本 隆・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同,

生物資源化学講座

Bioresource Chemistry

滝波 弘一・松井 佳久

Koichi TAKINAMI Yoshihisa MATSUI

持田 和男・若月 利之

Kazuo MOCHIDA Toshiyuki WAKATSUKI

尾添 嘉久・横田 一成

Yoshihisa OZOE Kazushige YOKOTA

地 阪 光 生

Mitsuo JISAKA

〔論文〕

1. Complexation of inorganic anions with heptakis-(6-butylamino-6-deoxy)- β -cyclodextrin and its analogs in acidic media. MATSUI, Y., E. TANEMURA and T. NONOMURA, Bull. Chem. Soc. Jpn., **66**: 2827-2831, 1993.
2. Extraction and identification of phytotoxic substances accumulated in nutrient solution for the hydroponic culture of tomato. YU, J. Q. and Y. MATSUI, Soil Sci. Plant Nutr., **39**: 691-700, 1993.
3. Phytotoxic substances in root exudates of cucumber (*Cucumis sativus* L.). YU, J. Q. and Y. MATSUI, J. Chem. Ecol., **20**: 21-31, 1994.
4. ¹H NMR response of native and modified cyclodextrins to inorganic anions. MATSUI, Y., P. MU and M. ONO, Proc. 7th Int. Cyclodextrin Symp. (Tokyo), pp. 134-137, 1994.
5. Reversible activation of aryl acylamidase from a coryne form bacterium, A-1, by a substrate, acetanilide. MOCHIDA, K., T. NAKAMURA, W. X. LI and Y. OZOE, J. Pesticide Sci., **18**: 281-384, 1993.
6. Picrodentrins, a new group of picrotoxane terpenoids: structure-activity profile of action at the GABA_A receptor-coupled picrotoxinin binding site in rat brain. OZOE, Y., H. HASEGAWA, K. MOCHIDA, K. KOIKE, Y. SUZUKI, M. NAGAHISA and T. OHMOTO, Biosci. Biotech. Biochem., **58**: 1506-1507, 1994.
7. Synthesis and structure-activity relationships of a series of insecticidal dioxatricyclododecenes acting as the noncompetitive antagonist of GABA_A receptors. OZOE, Y., T. TAKAYAMA, Y. SAWADA, K. MOCHIDA, T. NAKAMURA and F. MATSUMURA, J. Agric. Food Chem., **41**: 2135-2141, 1993.
8. Sesquilignan haedoxans: interaction with the GABA_A receptor in rat brain. OZOE, Y., H. HASEGAWA, K. MOCHIDA, H. SATOH, J. IWABUCHI, A. KUROZUMI and E. TANIGUCHI, Biosci. Biotech. Biochem., **58**: 760-761, 1994.
9. Effects of lindane (γ -BHC) and related convulsants on GABA_A receptor-operated chloride channels in frog dorsal root ganglion neurons. TOKUTOMI, N., Y. OZOE, N. KATAYAMA and N. AKAIKE, Brain Res., **643**: 66-73, 1994.
10. プロスタグランジン. 横田一成. 日本食品工業会誌, **41**: 397-398, 1994.
11. Madin-Darbyイヌ腎臓細胞株の細胞応答に伴うホスホリパーゼDの活性化とプロスタノイド生成. 横田一成・竹内純一・地阪光生・滝波弘一, 脂質生化学研究, **36**: 11-14, 1994.
12. 食用植物に含まれるリポキシゲナーゼ阻害物質とその作用機構. 地阪光生, 農化, **68**: 1044-1045, 1994.

〔学会発表等〕

1. ジャガイモ塊茎の脂肪酸ヒドロペルオキシド代謝系に関わるコルネル酸合成酵素活性の分離と性質. 地阪光生・和田清伸・横田一成・滝波弘一, 農化, **68**: 352, 1994.
2. エクストルーダ処理によるSPIの物性, 酵素作用の変化. 森 恵・地阪光生・横田一成・滝波弘一, 同, **68**: 487, 1994.
3. 細胞応答に伴う脂質メディエーターの生成に関するホスホリパーゼDの活性化. 横田一成・竹内純一・地阪光生・滝波弘一, 同, **68**: 565, 1994.
4. Madin-Darby イヌ腎臓細胞株の細胞応答に伴うホスホリパーゼDの活性化とプロスタノイド生成. 横田一成・竹内純一・地阪光生・滝波弘一, 第36回日本脂質生化学研究集会(札幌), 1994.
5. Madin-Darby イヌ腎臓細胞株での細胞応答によるプロスタノイド生成とホスホリパーゼDの活性化. 横田一成・竹内純一・地阪光生・滝波弘一, 第67回日本生化学大会発表, コロキユウム演題, 生化学,

- 66:660, 1994.
6. ジャガイモ塊茎リポキシゲナーゼcDNAのクローニングと構造解析. 小船文雄・高田 功・田中希枝・今市美保・地阪光生・滝波弘一, 平成6年度日本農芸化学会西日本支部大会(西日本支部第224回講演会)講演要旨集, **73**:39, 1994.
 7. ダイズオイルボディの物理化学的, 生化学的特性. 都留尊美・森 恵・横田一成・地阪光生・滝波弘一, 同, **73**:70, 1994.
 8. Design and function of modified cyclodextrins with the ability to recognize inorganic anions. MATSUI, Y., Proc. 4th Int. Sem.: Sustainable Bioproduction Systems on Environmental Conservation (Chinju), pp. 2-12, 1993.
 9. ピリジニオ修飾シクロデキストリンポリマーの合成とそれを用いた無機陰イオンの分離. 王安生・松井佳久, 日本化学会第66秋季年会講演予稿集, p. 98, 1993.
 10. ¹H NMR response of native and modified-cyclodextrins to inorganic anions. MATSUI, Y., P. MU and M. ONO, Abstr. 7th Int. CycloDextrin Symp. (Tokyo), p. 4, 1994.
 11. Autotoxic potential of cucumber grown by hydroponics. YU, J. Q. and Y. MATSUI, Proc. Sino-Int. Colloq. Soilless Culture (Hangzhou), pp. 158-166, 1994.
 12. 修飾シクロデキストリンポリマーの合成及び応用. 王安生・松井佳久, 中国化学会第7回大環化学学術研究会(済南)講演要旨集, p. 58, 1994.
 13. 新規テルペノイド, ピクロデンドリン類のラット脳GABA_Aリセプターにおける活性. 長谷川博子・尾添嘉久・持田和男・小池一男・鈴木由美子・長久雅子・大本太一, 農化, **68**:541, 1994.
 14. GABAリセプター・クロルイオンチャンネル複合体に作用する複素環式化合物の構造と活性. 松本健一・尾添嘉久・持田和男・中村利家・松村文夫, 日本農薬学会第19回大会講演要旨集, p. 77, 1994.
 15. 農薬曝露動物プランクトンの機能特性に関する研究. 柏田祥策・持田和男・尾添嘉久・中村利家, 同, p. 158, 1994.
 16. A chemical approach to the *t*-butylbicyclophosphorothionate binding site of the GABA-gated chloride channel. OZOE, Y., Book of Abstr. 207th ACS Natl. Meeting (San Diego), AGRO(Sect. 42), 1994.
 17. GABAレセプターと非競合拮抗体との相互作用. 尾添嘉久・持田和男・中村利家・赤松美紀・上野民夫・藤田稔夫・松村文夫, 第9回農薬デザイン研究会要旨集, p. 38, 1993.
 18. 非拮抗的GABAアンタゴニストの三次元定量的構造活性相関. 赤松美紀・上野民夫・藤田稔夫・尾添嘉久・持田和男・中村利家・松村文夫, 第21回構造活性相関シンポジウム講演要旨集, pp. 241-244, 1993.
- 〔その他〕
1. 地方バイオの産・官・学. 滝波弘一, バイオサイエンスとインダストリー, **51**:1009, 1994,
 2. 航空散布された松くい虫防除農薬フェニトロチオンの環境内挙動(片桐成夫代表「山陰地域人工林における森林環境の保全に関する基礎的研究」所収). 持田和男, 平成5年度島根大学特定研究成果報告書, pp. 62-73, 1994.
 3. 食餌因子によるアラキドン酸カスケード関連酵素遺伝子の発現調節. 横田一成・地阪光生・滝波弘一, 平成5年度科学研究補助金(一般C)成果報告書, 27 pp., 1993.
 4. 低減化と非RI化(柴田 均代表「リポキシゲナーゼ関連酵素及び遺伝子の構造解析と発現」所収). 横田一成, 平成5年度島根大学特定研究費研究成果報告書, 1993.
 5. 天然食品中のリポキシゲナーゼ関連化合物の生合成系と代謝産物の役割に関する研究. 滝波弘一・横田一成・地阪光生, (財)飯島記念食品科学振興財団学術研究成果報告書, 平成4年度年報, pp., 189-193, 1994.

応用生物機能学

Applied Biological Science

落合 英夫・春本 直
Hideo OCHIAI Tadashi HARUMOTO
森 忠洋・松田 英幸
Tadahiro MORI Hideyuki MATSUDA
藤原 勉・柴田 均
Tsutomu FUJIHARA Hitoshi SHIBATA
澤 嘉弘・佐藤 利夫
Yoshihiro SAWA Toshio SATO
川向 誠・秋葉 道宏
Makoto KAWAMUKAI Michihiro AKIBA
一戸 俊義
Tosiyoshi ICHINOHE

〔著書〕

1. 第三-1節 核酸の電気泳動; 第四-3節 酵母からのDNAの単離; 第七-1節 S1マッピング (駒野徹編「組換えDNA実験入門」所収). 川向 誠, 学会出版センター, 東京, pp. 29-34; 55-57; 105-109, 1994.
2. 水処理バイオ入門, 須藤隆一, 稲森悠平, 杉浦則夫, 田中修三, 森 忠洋, 矢木修身, 産業用水調査会, 東京, 1994.
3. 畜産の技術, 飼養 (森田琢磨・清水寛一編「新版畜産学-畜産への招待-」所収). 藤原 勉, 文永堂出版, 東京, pp. 293-312, 1993.

〔論文〕

1. Structural Organization of a Cryptic Plasmid, pMA1, from *Microcystis aeruginosa* f. *aeruginosa* Kützing. TOMINAGA, H., K. SOEJIMA, S. KAWAGISHI, H. ASHIDA, Y. SAWA and H. OCHIAI, Biosci. Biochem., **57** : 1503-1507, 1993.
2. Characterization of a Small Cryptic Plasmid, pPF1, from *Phormidium foveolarum* and Vector Construction. TOMINAGA, H., Y. HAYASHIDA, Y. HOSOYA, M. KUROKAWA, Y. SAWA and H. OCHIAI, Biosci. Biochem., **57** : 1795-1799, 1993.
3. Replication of filamentous cyanobacterial plasmids, pPF1 from *Phormidium foveolarum* and pPB1 from *Plectonema boryanum*. M. KUROKAWA, H. TOMINAGA, H. ASHIDA, Y. SAWA and H. OCHIAI, Biosci. Biochem., **58** : 796-797, 1994.
4. Lactate-dependent killing of *Escherichia coli* by nitrite plus hydrogen peroxide: A possible role of nitrogen oxide. KONO, Y., SHIBATA, K. ADACHI and K. TANAKA, Arch. Biochem. Biophys., **311** : 153-159, 1994.
5. Stationary phase-specific expression of *fic* gene in *Escherichia coli* K-12 is controlled by the *rpoS* gene product (σ^{38}). UTSUMI, R., S. KUSAFUKA, T. NAKAYAMA, K. TANAKA, Y. TAKAYANAGI, H. TAKAHASHI, M. NODA and M. KAWAMUKAI, FEMS Microbiol. Lett., **113** : 273-278, 1993.
6. The identification of *Escherichia coli* *colispB* (*cel*) gene encoding the octaprenyl diphosphate synthase. ASAI, K., S. FUJISAKI, Y. NISHIMURA, T. NISHINO, K. OKADA, T. NAKAGAWA, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, Biochem. Biophys. Res. Commun., **202** : 340-345, 1994.
7. Intercalation and bilayer formation of phospholipids in layered synthetic mica. Y. KANZAKI, M. KOGURE, T. SATO, T. TANAKA and Y. MORIKAWA: Langmuir, **9** : 1930-1931, 1993.
8. 生態工学と水域の直接浄化. 秋葉道宏・森 忠洋・佐藤利夫: 日本海水学会誌, **47** : 291-296, 1993.
9. 中海浚渫跡地に集積した浮泥の特性. 秋葉道宏・橋田隆史・野田修司・中村幹雄・森 忠洋・佐藤利夫, 環境工学論文集, **30** : 16-23, 1993.
10. 嫌気-好気性活性汚泥法で発生したグラニューールの構造と性質. 高井真希・葉 嘉民・趙 敬淑・石原純子・伊藤富夫・森 忠洋, 水環境学会誌, **16** : 820-825, 1993.
11. Complete treatment of shochu processed wastewater by thermophilic oxic process. Liu Bao GANG and T. MORI, Proc. Env. Eng. Res., **30** : 165-174, 1993.
12. Thiobacillus ferrooxidans によるジャロサイトおよびアンモニアジャロサイトの生成実験. 小岩崎浩一・本坊好正・田崎和江・森 忠洋, 地球科学, **47** : 493-505, 1993.
13. 活性汚泥の細菌群衆構造におよぼす亜鉛ストレスの影響-キノプロファイル法による解析. 平石明・小林 豊・森山 清・森 忠洋, 水環境学会誌,

- 16 : 481-487, 1993.
14. Production on high quality compost from sewage sludge. Proceedings of the Management of Water and Westwater Solids for the 21st Century: A Global Perspective, Specially Conference of the Water Environment Federation(Sect. 10). H. CAI and T. MORI, pp. 51-61, 1994.
 15. 流入下水中の有機酸と放線菌 (*Nocardia amarae*) 増殖の関係. 下水道協会誌論文集, **31** : 39-46, 1994.
 16. 高温・好気法による豚ふん尿の完全処理. 劉 宝鋼・蔡 恵良・森 忠洋, 環境工学研究論文集, **31** : 209-214, 1994.
 17. Effect of sulfite on anaerobic treatment of excess activated sludge Jae-Kyung, YANG., Soo-Koo, LEE., T. MORI, Proc. Env. Eng. Res., **31** : 37-45, 1994.
 18. 汚水処理施設におけるコンクリート微生物腐食対策に関する考案. 野中資博・杉田秀雄・但田廣次・森 忠洋, 農業土木学会論文集, **174** : 1994.
 19. 汚水処理施設におけるコンクリート微生物腐食の階層関係. 野中資博・杉田秀雄・但田廣次・森 忠洋, 同, **174** : 1994.
 20. Extraction of trehalose from thermally-treated Bakers's yeasst. Y. YOSHIKAWA, K. MATSUMOYO, K. NAGATA and T. SATO. Biosci. Biotech. Biochem., **58** : 1226-1230, 1994.
 21. Affinity of electromigrating ions in cation-exchange membrane. A. KAWAGUCHI and T. SATO. Proc. 45th Ann. Meet. Int. Soc. Elec. Chem. (Porto), pp. 311-317, 1994.
 22. Nitrogen utilization in sheep fed on a low-quality hay with an oral supplement of urea. FUJIHARA T., Bull. Fac. Agr. Simane Univ., **27** : 65-72, 1993.
 23. Effect of intracerebroventricular administration of musimol on feed intake in sheep fed a roughage alone or a concentrate-based diet. MATSUI, T., H. YANO, T. FUJIHARA, and T. HARUMOTO, Anim. Sci. Technol. (Jpn.), **65** : 99-104, 1994.
 24. Rumen degradability of Italian ryegrass (*Lolium multiflorum* L.) harvested at three different growth stages in sheep. Armina FARIANI, Lili WARLY, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, AA J. Anim. Sci., **7** : 41-48, 1994.
 25. Inorganic selenium for sheep. I. Selenium balance and selenium levels in the different ruminal fluid fractions. SERRA, A. B., K. NAKAMURA, T. MATSUI, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, AA J. Anim. Sci., **7** : 83-89, 1994.
 26. Inorganic selenium for sheep. II. Its influence on rumen bacterial yield, volatile fatty acids production and total tract digestion of timothy hay. SERRA, A. B., NAKAMURA, T. MATSUI, T. HARUMOTO and T. FUJIHARA, AA J. Anim. Sci., **7** : 91-96, 1994.
 27. The interaction of musimol and elfazepam on feed intake in sheep. MATSUI, T., H. YANO, E. HOSOI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, Anim. Sci. Technol. (Jpn.), **65** : 261-264, 1994.
 28. Study on the utilization of rice straw by sheep. III. Effect of soybean meal and barley supplementation on voluntary intake, digestibility and ruminal fermentation. Lili WARLY, Almina FARIANI, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, AA J. Anim. Sci., **7** : 265-271, 1994.
 29. Study on the utilization of rice straw by sheep. IV. Effect of soybean meal and barley supplementation on eating and rumination behaviour. Lili WARLY, Almina FARIANI, T. MATSUI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, Ibid., **7** : 273-277, 1994.
 30. 反芻胃内飼料片の粒度別動態解析法について. 一戸 俊義, 栄養生理研究会報, **38** : 89-114, 1994.
 31. The particle size distributions of ingested boli, rumen digesta and feces in sheep fed orchardgrass hay harvested at different stages of maturity. ICHINOHE, T., T. TAMURA, K. UEDA, M. OKUBO and Y. ASAHIDA, Anim. Sci. Technol. (Jpn.), **65** : 701-708, 1994.
 32. Manipulation of appetite in ruminants; Effects of benzodiazepines and aminobutyric acid agonist on feed intake of sheep. HOSOI, E., T. MATSUI, H. YANO, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, Proc. 7th AAAP Anim. Sci. Congr. (Bali, Indonesia), **1** : 143-150, 1994.
 33. The effect of suppressing bone resorption on Mg metabolism in sheep (*Ovis aries*). T. MATSUI, H.

- YANO, T. KAWABATA and T. HARUMOTO, Comp. Biochem. Physiol., **107A** : 233-236, 1994.
34. The influences of casein phosphopeptides on metabolism of ectopic bone induced by decalcified bone matrix implantation in rats. T. MATSUI, H. YANO, T. AWANO, T. HARUMOTO and Y. SAITO, J. Nutr. Sci. Vitaminol., **40** : 137-145, 1994.
- 〔学会発表等〕
1. ラン藻 *Microcystis aeruginosa* 大プラスミド (pMA2). 富永宏志・川岸昇一・神吉宏明・芦田裕之・澤 嘉弘・落合英夫, 農化, **68** : 154, 1994.
 2. シロイヌナズナのサイクロフィリンペプチジループロリルイソメラーゼの遺伝子のクローニングと構造解析. 中川 強・斉藤 武・芦田裕之・川向 誠・落合英夫・松田英幸, Plant & Cell Physiol. (Suppl. s.), **35** : 15, 1994.
 3. ラン藻プラスミドの複製機構. 富永宏志・川岸昇一・黒川将弘・芦田裕之・澤 嘉弘・落合英夫, 農化, **68** : 666, 1994.
 4. Response to near-ultraviolet irradiation in cyanobacterial cells and in a higher plant. SHIBATA, H., Proc. 4th Int. Semi. : Sustainable Bioproduction System on Environmental Conservation (Chinju), pp. 21-27, 1993.
 5. 亜硝酸イオン共存下でのペルオキシダーゼ反応. 柴田 均・河野泰久・山下澄子・落合英夫, 農化, **68** : 553, 1994.
 6. ホウレン草に対する近紫外線照射の効果: H_2O_2 の生成と H_2O_2 消去系酵素の誘導について. 安達浩司・柴田 均, Plant & Cell Physiol. (Suppl. s.) **35** : 14, 1994.
 7. 近紫外線照射の効果: H_2O_2 の生成と H_2O_2 消去系酵素の誘導について. 安達浩司・柴田 均, 同, **35** : 15, 1994.
 8. 亜硝酸イオン共存下でのペルオキシダーゼ反応によるクロロフィルの分解. 山下澄子・河野泰久・柴田均, 同, **35** : 45, 1994.
 9. 大腸菌グルタミン合成酵素アデニル化サイト近傍の解析. 加賀山聡・芦田裕之・柴田 均・落合英夫・澤 嘉弘, 生化学, **65** : 1031, 1993.
 10. 好温性ラン藻由来アラニン脱水素酵素の相同性解析. 能城安雄・芦田裕之・柴田 均・落合英夫・澤嘉弘, 農化, **68** : 153, 1994.
 11. ラン藻アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ遺伝子のクローニング. 中岡正樹・芦田裕之・柴田均・落合英夫・澤 嘉弘, 同, **68** : 440, 1994.
 12. ラン藻アミノ酸代謝系酵素の分子進化. 澤 嘉弘, 日本農芸化学会藪田基金研究小集会 (高知大学), 1994.
 13. 大腸菌ポリプレニールトランスフェラーゼをコードする遺伝子の構造解析. 岡田憲典・落合祐次・中川強・川向 誠・松田英幸, 日本農芸化学会平成五年度関西・西日本支部合同大会およびシンポジウム講演要旨集, p. 35, 1993.
 14. 定常期に特異的に発現する遺伝子 *fic* の解析. 中山隆博・草深紫絵・田中 寛・川向 誠・田辺寛之・野田万次郎・内海龍太郎, 同, p. 58, 1993.
 15. ユビキノン合成遺伝子の改変による大腸菌及びタバコでのユビキノン生産. 湯浅美穂子・朱 旭芬・鈴木謙吾・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, p. 73, 1993.
 16. 分裂酵母の高胞子形成を誘導する *sam* 変異の解析. 片山 諭・足立奈美・中川 強・松田英幸・川向 誠, 第11回 YEAST WORKSHOP, p. 16, 1993.
 17. 分裂酵母 *cyr1* 高発現株の性質を抑制する遺伝子. 足立欣己・中川 強・松田英幸・川向 誠, 同, p. 17, 1993.
 18. アデニル酸シクラーゼに結合したアクチンと相互作用するタンパク質CAP. 川向 誠, 第3回「細胞制御」ワークショップ講演要旨集, p. 32, 1993.
 19. トランスジェニック植物を用いたチトクロームオキシダーゼサブユニット遺伝子のプロモーター解析. 田中 勲・川向 誠・松田英幸・芦田裕之・中川 強, 第16回日本分子生物学会年会講演要旨集, p. 191, 1993.
 20. 大腸菌のオクタプレニルニリン酸合成酵素遺伝子 *ispB* の同定. 浅井健一・藤崎真吾・西村行進・西野徳三・岡田憲典・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, p. 377, 1993.
 21. 大腸菌のユビキノン生合成に関する *ubiAC* 遺伝子の発現制御機構及び酵母 *COQ2* との機能的相同性. 鈴木謙吾・湯浅美穂子・朱旭芬・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, p. 378, 1993.
 22. 分裂酵母の *cyr1* 高発現株の性質を抑制する遺伝子. 足立欣己・中川 強・松田英幸・川向 誠, 同, p. 419, 1993.
 23. 分裂酵母の高胞子形成を誘導する *sam* 変異の解析.

- 片山 諭・中川 強・松田英幸・川向 誠, 同, p. 419, 1993.
24. アデニル酸シクラーゼとアクチンに結合する二機能タンパク質CAP. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, p. 430, 1993.
 25. *Enterobacter* sp. G-1 のキチナーゼ非生産株の単離及びそれを回復させる遺伝子の解析. 朴 斉権・岡本 隆・川向 誠・中川 強・松田英幸, 農化, **68**: 99, 1994.
 26. 分裂酵母の有性生殖過程に関わる *hcs* (HMG-CoA synthase) 遺伝子の解析. 足立奈美・高尾恒太・片山 諭・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **68**: 121, 1994.
 27. アデニル酸シクラーゼ結合タンパク質CAPはアクチンと相互作用する. 川向 誠・中川 強・松田英幸・M. WIGLER, 同, **68**: 121, 1994.
 28. 大腸菌での新たなイソプレノイド合成系遺伝子の構造解析. 岡田憲典・落合祐次・中川 強・川向 誠・松田英幸・浅井健一・藤崎真吾・西村行進・西野徳三, 同, **68**: 334, 1994.
 29. ユビキノン合成系遺伝子改変によるユビキノン生産性向上の検討. 朱 旭芬・湯浅美穂子・鈴木謙吾・中川 強・川向 誠・松田英幸, 同, **68**: 334, 1994.
 30. *fic* 遺伝子の発現制御特性. 中山隆博・岩本直己・江田久美子・平村垣士・田中 寛・石津尊明・川向 誠・田辺寛之・内海龍太郎, 同, **68**: 341, 1994.
 31. *Enterobacter* sp. G-1 のキチン分解能欠失株の単離とキチナーゼ遺伝子の解析. 朴 斉権・岡本 隆・福本育夫・中川 強・川向 誠・松田英幸, 第 8 回キチン・キトサン・シンポジウム, pp. 109-110, 1994.
 32. Isolation of cyclophilin/peptidyl-prolyl isomerase genes from *Arabidopsis thaliana*. NAKAGAWA, T., T. SAITO, H. ASHIDA, H. OCHIAI, M. KAWAMUKAI and H. MATSUDA, 4th Int. Cong. Plant Mol. Biol. (Amsterdam), 1994.
 33. Characterization of *sam* mutations which induce hyper-sporulation in fission yeast. KATAYAMA, S., T. NAKAGAWA, H. MATSUDA and M. KAWAMUKAI, Yeast Genetics and Molecular Biology Meeting (Seattle), p. 169, 1994.
 34. Genes that suppress the phenotype caused by high expression of *cyrl* in *S. pombe*. KAWAMUKAI, M., Y. ADACHI, T. NAKAGAWA and H. MATSUDA, *Ibid.*, p. 170, 1994.
 35. Bactericidal effect of ion-exchange membrane electro dialysis system on yeast cells. M. KOGURE, T. SATO, Y. KANZAKI and T. TANAKA, Abstr. 4th JPN-USA Elec. Chem. Cong. (Honolulu), p. 1161, 1993.
 36. Electrochemical properties of inorganic cation-exchange membrane prepared from antimony triethoxide. Y. SUZUKI, M. KOGURE, T. SATO, Y. KANZAKI and T. TANAKA, H. OHYA and T. SUZUKI, *Ibid.*, p. 1161, 1993.
 37. Na型フッ素雲母のイオン交換特性および殺菌作用. 宮城島茂友・吉田康敏・初鹿敏明・鈴木 喬・佐藤利夫, 第 9 回日本イオン交換学会・第 7 回日本吸着学会連合研究発表会講演要旨集, p. 58, 1993.
 38. 各種ろ材を用いたろ過法による松江城お堀の浄化. 秋葉道宏・木山朋宏・津島真理・森 忠洋・丹羽天明・毛利光男, 第28回日本水環境学会年会講演集, pp. 352-353, 1994.
 39. The effect of dietary energy levels on microbial yield in the rumen of sheep. NAKAMURA, K. and T. FUJIHARA, Proc. 7th AAAP Anim. Sci. Congr. (Bali, Indonesia), **3**: 57-58, 1994.
 40. The effect of marker dosing-time on the passage rates of digesta through the digestive tract of cattle. ICHINOHE, T., Y. FUJII and T. FUJIHARA, *Ibid.*, **3**: 59-60, 1994.
 41. Effect of protein and energy supplementation on rumen degradation of fiber components, passage rate and distribution of digesta particle size in sheep receiving rice straw as a basal diet. Lili WARLY, Armina FARIANI, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, *Ibid.*, **3**: 65-66, 1994.
 42. Diets of Philippine indigenous sheep and goats grazed in common pasture. SERRA, A. B., S. D. SERRA, F. B. SERRA, I. J. DOMINGO, L. C. CRUZ and T. FUJIHARA, *Ibid.*, **3**: 87-88, 1994.
 43. Effect of protein and/or energy supplementation on eating and rumination behaviour in sheep receiving ammonia-treated rice straw as a basal diet. Armina FARIANI, Lili WARLY, O. P. MAWUENYEGAH, T. FUJIHARA and T. HARUMOTO, *Ibid.*, **3**: 183-184, 1994.
 44. Effect of fluctuating supply of purine nucleosides

- on the plasma and urinary purine derivatives in sheep nourished by intragastric nutrition. FUJIHARA, T., K. NAKAMURA, X. B. CHEN and E. R. ORSKOV, J. Anim. Sci. (Suppl.), **72**: 246, 1994.
45. 肉用牛における粉末油脂給与と飼料の利用性について. 荻野壽一・松井 徹・春本 直・藤原 勉・成瀬治巳, 日本畜産学会第88回大会講演要旨, p. 26, 1994.
 46. 反芻胃内容物より調製した粒度別反芻胃内飼料片の反芻胃内通過速度. 田村 忠・一戸俊義・上田宏一郎・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 38, 1994.
 47. めん羊における反芻胃内飼料片の粒度微細化に伴う繊維成分分析-給与乾草の刈取り時期, 草種による違い. 上田宏一郎・一戸俊義・田村 忠・大久保正彦・朝日田康司, 同, p. 38, 1994.
 48. アンモニア処理イナワラへの大豆粕および大麦補給がメンヨウの反芻行動とルーメン内容物の粒度変化に及ぼす影響. Lili WARLY, 藤原 勉・春本 直, 同, 39, 1994.
 49. マーカーの反芻胃内投与時刻の差異が牛と消化管内容物の通過パラメータに及ぼす影響. 一戸俊義・藤井保子・栗井和宏・藤原 勉, 同, p. 40, 1994.
 50. メンヨウにおける血液中のPD濃度と尿中のPD排泄量の相関関係について. 中村一考・藤原 勉・X. B. CHEN, E. R. ORSKOV, 同, p. 51, 1994.
 51. タンパク質の補給によって影響されるメンヨウのセレンの利用性について. SERRA, A. B.・S. D. SERRA・一戸俊義・春本 直・藤原 勉, 同, p. 56, 1994.
 52. フィリピン在来メンヨウにおける放牧採食草成分組成の飼料採取法による相違について. SERRA, S. D.・A. B. SERRA・I. J. DOMINGO・L. C. CRUZ・藤原 勉, 同, p. 77, 1994.
 53. 大麦ワラのアンモニア処理がメンヨウの採食ならびに反芻行動に及ぼす影響. MAWUENYGAH, O. P.・Lili WARLY・藤原 勉・春本 直, 同, p. 79, 1994.
 54. 光条件の差がメン羊の反芻行動に及ぼす影響. 隈元寛・春本 直・藤原 勉, 第43回日本畜産学会関西支部大会講演要旨, p. 10, 1993.
 55. 刈取り時期の異なる乾草を給与しためん羊の反芻時咀嚼による反芻胃内粗飼料片粒度別分画の消失. 一戸俊義・上田宏一郎・大久保政彦・朝日田康司, 同, p. 10, 1993.
 56. 乾草飼料給与時におけるメンヨウの尿中PD排泄について. 藤原 勉・村中清敏・春本 直, 同, p. 21, 1993.
 57. アンモニア処理大麦ワラの飼料価に関する研究. MAWUENYGAH・O. P., Lili WARLY・松井 徹・春本 直・藤原 勉, 同, p. 23, 1993.
- 〔その他〕
1. 好温性ラン藻の有用機能の開発と応用に関する研究. 落合英夫・澤 嘉弘, 平成5年度産学R&D推進委託研究報告書, pp. 35-51, 1994.
 2. 植物細胞内での内因性ストレス応答と有用物質生産. 柴田 均, 平成5年度科学研究費補助金(一般C)研究成果報告書, 25 pp., 1994.
 3. ラン藻 *Microcystis aeruginosa* に関する分子生物学的研究. 落合英夫, 平成5年度科学研究費補助金(一般C)研究成果報告書, 38 pp., 1994.
 4. 対数増殖後の世界とその主役達. 内海龍太郎・川向誠・田中 寛, 化学と生物, **31**: 170-171, 1993.
 5. 分裂酵母 *ras* と相互作用する因子. 川向 誠, 生物工学会誌, **71**: 448, 1993.
 6. 分裂酵母の有性生殖過程を支配するシグナル因子(西本毅治代表「細胞周期」所収). 平成5年度科学研究費補助金(重点領域)成果報告書, pp. 32-34, 1994.
 7. アデニル酸シクラーゼに結合タンパク質CAPとアクチン. 川向 誠, 第二回農芸化学若手シンポジウム-Proceedings- pp. 44-45, 1994.
 8. RpoS (σ^{38}) により特異的に認識される *fic* 遺伝子の発現特性. 内海龍太郎・中山隆博・岩本直巳・江田久美子・川向 誠・田辺寛之・田中 寛, 同, pp. 40-41, 1994.
 9. Biotechnology of chitosan and its related enzymes, Part V. MATSUDA, H., 第5回植物と微生物のバイオセミナー(神戸大学), pp. 1-48, 1993.
 10. くすり・クスリ談義「アリの薬効について」. 佐藤利夫, イオン交換学会誌, **4**: 209, 1993.
 11. 同「ゲンゴロウ・アメンボの薬効について」. 佐藤利夫, 同, **5**: 25, 1994.
 12. 同「トンボの薬効について」. 佐藤利夫, 同, **5**: 62, 1994.
 13. 農林漁業を大切にしたい地域と地球の環境保全, 森忠洋, 用水と廃水, **35**: 1, 1993.
 14. 浄化槽汚泥緑農地利用の課題, 森 忠洋, 月刊浄化槽, **211**: 13-21, 1994.

15. 有機物の中層資源化システムの構築, 森 忠洋, 蔡 恵良, 同, **216**: 10-14, 1994.
16. 上質牛肉生産の技術に関する基礎的研究 (伊藤記念財団編「食肉に関する助成研究調査成果報告書」所収), 伊藤記念財団, 東京, **11**: 233-238, 1993.

農学部附属農場

University Farms Attached to
Faculty of Agriculture

伊藤 憲 弘 ・ 植 田 尚 文
Norihito ITO Hisafumi UEDA
福 田 晟 ・ 青 木 宣 明
Akira FUKUDA Noriaki AOKI
宇津田 嘉 弘 ・ 浅 尾 俊 樹
Yoshihiro UZUTA Toshiki ASAO
内 藤 整
Hitoshi NAITO

〔 論 文 〕

1. 土性の異なる 3 種土壌における不耕起栽培の比較研究 (第 3 報) 火山灰土壌 (土性SiC) に対する不耕起栽培の適応性. 伊藤道秋・遠藤織太郎・坂井直樹・春原 亘・米川智司・福田 晟・伊藤憲弘, 農作業研究, **29**: 44-50, 1994.
2. 同 (第 4 報) 適応性と問題点に関する総合考察. 坂井直樹・春原 亘・米川智司・伊藤道秋・遠藤織太郎・福田 晟・伊藤憲弘, 同, **29**: 51-57, 1994.
3. Effect of pre-chilling on the growth and development of flower bud and flowering of forced herbaceous peony (*Paeonia lactiflora* PALL.). AOKI, N., Bull. Fac. Agr., Shimane Univ., **27**: 73-78, 1993.
4. 植物生長調節物質, 接き木および断根処理がトマトの苗の生育に及ぼす影響. 浅尾俊樹・伊藤憲弘・細木高志・太田勝巳・遠藤啓太, 島根大農研報, **27**: 79-83, 1993.
5. 養液栽培システムの改善に関する研究(1) - 吸気ノズルの吸気特性 - 岩男俊男・房 薇・林 圭腕・竹山光一・藤浦健史・浅尾俊樹, 同, **27**: 15-21, 1993.
6. Physiological response to salinity in rice plant. II. Relationship of sodium exclusion to transpiration and root-respiration rates in NaCl-treated rice plant. NAITO, H., M. TSUCHIYA and S. KUMANO, Jpn. J. Crop Sci., **63**: 320-325, 1994.
7. Ditto. III. A possible mechanism for Na⁺ exclusion in rice root under NaCl-stress condition. TSUCHIYA, M., M. MIYAKE and H. NAITO, Ibid., **63**: 326-332, 1994.

〔学会発表等〕

1. 予備冷蔵とGA処理が促成シャクヤクの開花に及ぼす影響. 青木宣明, 園学雑. **62 (別2)**: 562-563, 1993.
2. ブルーベリーの促成開花に関する研究 (第1報) 花芽分化期と切り枝の休眠打破. 青木宣明・植田尚文, 同. **63 (別1)**: 454-455, 1994.
3. Study on petal coloration and forcing ability of tree peony bred and selected in Shimane Pref. AOKI, N., Y. SAKATA, H. NISHIKOURI and S. TSUNEMATSU, X XIVth Int. Hort. Cong. (Kyoto), p. 116, 1994.
4. 堆肥発酵処理技術と応用 (速成堆肥の製造に関する研究). 宇津田嘉弘, 日畜関西支部報, **127**: 16-20, 1994.
5. 中海・宍道湖に生育する水鳥類の特徴について. 宇津田嘉弘・佐藤仁志, 島根県獣医学会講演要旨集, p. 68, 1994.
6. 植物生長調節物質, 接ぎ木および断根処理が水耕トマトの苗の生育に及ぼす影響. 浅尾俊樹・伊藤憲弘・細木高志・太田勝巳・遠藤啓太, 園学雑. **63 (別1)**: 364-365, 1994.

農学部附属演習林

University Forests Attached to
Faculty of Agriculture

瀧本 義彦 ・ 新村 義昭
Yoshihiko TAKIMOTO Yoshiaki SHINMURA
西野 吉彦 ・ 山下 多聞
Yshihiko NISHINO Tamon YAMASHITA

〔論文〕

1. 中国毛烏素沙地における早柳 (*Salix matsudana*) 直挿し個体の直系と萌芽枝数の関係で観察された早柳の収穫環. 新村義昭・張 文軍, 日本緑化工学会誌, **19**: 166-173, 1994.
2. An adaptive control optimization for circular sawing. C. TANAKA, C. ZHAO, T. NAKAO, Y. NISHINO and A. TAKAHASHI, Forest Prod. J., **43**: 61-65, 1993.
3. 長さ方向に材質分布をもつ木材梁の両端自由たわみ振動. 無水マレイン酸を用いた気相アシル化反応により設けた梁長さ方向の反応分布と共振振動数の関係. 西野吉彦・藤本 隆・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 木材学会誌, **39**: 1349-1355, 1993.
4. 木工用帯鋸の最適化適応制御加工に関する研究 (第4報). 最適化制御システムの開発とその加工性. 趙 春瑞・田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 同, **39**: 1356-1362, 1993.
5. 帯のこ切削における切削面粗さの推定に関する研究. 田中千秋・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 材料, **43**: 158-163, 1994.
6. ホルマール化木材に吸着した水の誘電緩和. 趙 広傑・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 木材学会誌, **40**: 258-262, 1994.
7. 木質ボードの曲げヤング率に及ぼすせん断力, めり込み及びたわみ速度の影響. 董 玉庫・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹・西野吉彦, 同, **40**: 481-490, 1994.
8. アセチル化木材に吸着した水の誘電緩和. 趙 広傑・西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, **40**: 571-576, 1994.
9. ベネフィット構造分析法による住宅の住み心地の調査研究. 中尾哲也・岩切祥子・中尾寛子・高橋 徹・田中千秋・西野吉彦, 同, **40**: 703-709, 1994.

10. 森林作業における労働災害に関する研究—大学演習林での事例— 山本俊明・瀧本義彦・岩川 治, 京大演報, **65**: 251-265, 1993.
11. 乾性褐色森林土における硝化阻害についての一考察 (II) 土壌中のタンニン含有量について. 山下多聞・渡辺弘之, 日本林学会関西支部論文集, **2**: 69-72, 1993.
12. *Dipterocarpus baudii* 人工林におけるリターによる有機物供給および窒素供給量. 山下多聞・武田博清・L. G. KIRTON, 日林論, **104**: 371-372, 1993.

〔学会発表〕

1. 繊維材料補強合板の接着性と強度特性. 徐 行・田中千秋・中尾哲也・高橋 徹・西野吉彦, 第44回日本木材学会大会研究発表要旨集, p. 109, 1994.
2. 断面内不均質木質ボードの動的性質に関する研究 (第2報). 董 玉庫・中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 110, 1994.
3. レパートリー・グリッド法による住宅の住み心地の調査研究. 岩切祥子・森 美杉・中尾哲也・高橋 徹・田中千秋・西野吉彦, 同, p. 163, 1994.
4. 窓の開閉に伴ううるささの変動の評価. 木村雅明, 中尾哲也, 西 政敏, 高橋 徹, 田中千秋, 西野吉彦, 同, p. 172, 1994.
5. ルーター切削における切削面粗さとAE係数率の関係. グジェゴシュ ツェラ・川田昌範・田中千秋・中尾哲也・高橋 徹・西野吉彦, 同, p. 311, 1994.
6. 3次元板理論によるねじり振動解析. 中尾哲也・西野吉彦・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 429, 1994.
7. 劣化過程にある木材梁の両端自由たわみ振動. 西野吉彦・中尾哲也・田中千秋・高橋 徹, 同, p. 430, 1994.
8. 森林作業の労働科学的研究—作業強度の測定方法について— 黄 箭波・瀧本義彦・松原周信, 第105回日本林学会要旨集, p. 105, 1994.
9. フタバガキ人工林における窒素循環量について マレーシア半島部 *Dipterocarpus baudii* 植林地の事例. 山下多聞・武田博清・L. G. KIRTON, 第104回日本林学会大会講演要旨集, p. 99, 1993.
10. マレーシア半島部フタバガキ人工林生態系におけるリターによる有機物と無機養分の供給. 山下多聞・武田博清・L. G. KIRTON, 第3回日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集, p. 20, 1993.
11. マレーシア半島部フタバガキ人工林における有機物供給とその分解について. 山下多聞・武田博清・L. G. KIRTON, 第41回日本生態学会大会講演要旨集, p. 153, 1994.
12. 半島部マレーシア, パソ森林保護区における落葉8種の分解について. 山下多聞・武田博清・L. G. KIRTON, 第4回日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集, p. 33, 1994.

〔その他〕

1. 中国における北の文化と南の文化—荷車と天秤棒— 新村義昭, 林業技術, **626**: 38-41, 1994.
2. 林齢の異なる二つのスギ, ヒノキ人工林における水文観測. (片桐成夫代表「山陰地域人工林における森林環境の保全に関する基礎的研究」所収), 島根大学特定研究平成5年度成果報告書, 新村義昭, pp. 94-102, 1994.
3. 先行枝払いによる間伐作業. (同), 同, 瀧本義彦, pp. 128-134, 1994.
4. 単一のご歯の切削現象. 単一のご歯による切削力とアコースティック・エミッションの挙動— 田中千秋・ツェラ グジェゴズ・池田茂人・中尾哲也・西野吉彦・高橋 徹, 木材工業, **49**: 74-77, 1994.
5. 森林作業における労働災害に関する研究—大学演習林での事例— (岩川 治 代表「林業労働災害と労働安全に関する総合的調査研究」所収). 瀧本義彦・山本俊明・岩川 治, 平成4年度科学研究費補助金 (総合A) 研究成果報告書, pp. 82-96, 1993.